

ブラインドパーゴラ



スポーツを楽しむ前後のスタンバイ、クールダウン、コミュニケーションの場に（9月撮影）

品川区 しながわ区民公園（東京都）

日陰率 97%※！ 効率的に日陰をつくるパーゴラ

高い遮光率のオリジナル桟木が、効率的に日陰をつくり暑熱を緩和。熱中症リスクを軽減します。アルミ押出し材で耐久性にも優れ、熱を吸収しにくいカラーを採用しています。

風が抜けやすく、熱気がこもりにくいデザインは風にそよいでいるような透明感を醸し出します。



※ 8/1 東京地方正午で日陰率約 97%

軽快さで魅せるパーゴラ

シンプルですっきりとした印象になる「吊下げ式構造」を採用。公園だけでなく、建築系のオープンスペースにも調和します。従来の栈木にはない軽快な雰囲気を醸し出します



設置場所で選べる 2 モデル

遊歩道や狭いスペースに設置しやすいカンチレバータイプと、テーブルや縁台などでくつろげる空間を作り出すベーシックタイプをご用意。



省スペース対応

ベーシックタイプは柱を外側に配したデザインにより、コンパクトな外観で広い空間を確保。サイズの大きいテーブル等に対応します。また、栈木に傾斜を付け雨垂れを柱の外に逃がします。



日陰はどうして涼しいの？

日陰も日向も実は同じ気温。人が「暑い」「涼しい」を感じる要素は気温のほかに日射や地表面からの放射熱、湿度、風などの影響が関係しています。

日陰は体感温度を上昇させる要素のうち日射と放射熱を大幅に低減。体感温度を下げることに貢献します。



4 月撮影 文京区 本駒込 2 丁目児童遊園 (東京都)

日陰効果について

※ 8/1 東京地方正午で日陰率約 97%

(右図：想定太陽高度でのシミュレーション CG)

午後 12:15 頃から日没までは日陰率 100%

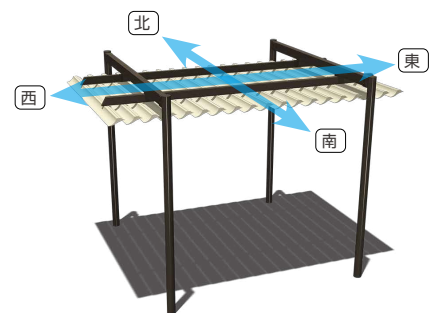
(ただし日陰位置は横にずれていきます)

※ 栈木ピッチ @ 200mm

※ 柱ピッチ (2600mm) で連棟可能。

※ 多雪仕様対応。計算条件：粗土区分 III / 風速 38 m/s。

栈木長 3000mm 仕様も同設計で承ります。



※ 長辺が東西になる設置向きを推奨

敷地の都合で推奨向きで施工できない場合？

施工場所の都合で推奨外の向きで設置した場合、時間の経過とともに栈木下の日陰の占有率に差が生じますが、推奨向き同様に得られる日陰率は継続します。

※ 8 月 1 日の東京地方の日陰を想定してシュミレートした比較

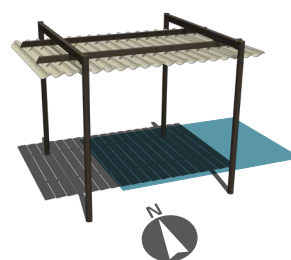
正午の日陰



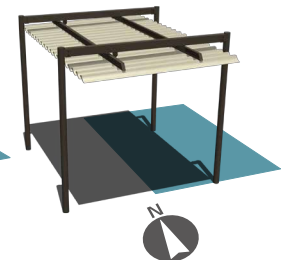
14 時の日陰



※ 長辺が東西になる
推奨の設置向き



※ 長辺を東西にしてい
ない
推奨外の設置向き





広い園内に日陰の休憩スペースを点在させて移動しやすく（7月撮影）

品川区 しながわ区民公園（東京都）



しっかり楽しんで、しっかりクールダウン。（9月撮影）

品川区 しながわ区民公園（東京都）



長いエリアの緑道や河川敷には日陰のある休憩スペースを（5月撮影）

一宮市 大江川緑道（愛知県）



やさしいまちづくりにつながるクールスポットづくり（8月撮影）

川崎市 登戸3号街区公園（神奈川県）



冬季。ベンチは日陰にならず日あたりのいいスペースに（11月撮影）

河内市 スポーツパークかわち（茨城県）



梅雨開け。熱中症リスクを低減させて、夏ならではのまぶしい思い出を（7月撮影）

品川区 旗六公園（東京都）



風にそよぐような形状のアルミ製桟木。厳しい残暑にも対応（9月撮影）

印西市 木下駅前にぎわい広場（千葉県）



透明感のある雰囲気はどんな場所にも調和します（11月撮影）

UR 都市再生機構 花畑団地（東京都）

ブラインドパーゴラ桟木を利用した日陰施設



長期にわたる暑さへの対応 6月撮影 松戸市 新松戸中央公園(千葉県)



3月撮影 東大阪市 柄池公園(大阪府)



ベンチ付きのコンパクトタイプ